

ユズリハだより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp **92号**

2016. 1. 20 (No.92)
 東京公害患者と家族の会
 文京区大塚4-2-11
 恩田ビル304
 TEL03-6912-1656 FAX03-6304-1418
 ぜん息110番
 03-6912-1657

明けましておめでとうございます

昨年、多くの国民が騒がしく、多くの国民が本当の平和について考えさせられた年でした。東京都大気汚染医療費助成制度新規受け付けは3月末で終了しました。駆け込みで間に合った患者が約7千人いる一方で、終了後に制度を知ったという患者もいます。また4月から18歳になると医療費助成が打ち切られた子どもにも、早期に「国による医療費助成制度創設」が必要と、全国公害患者の会連合会と共に運動を取り組んできました。



新年おめでとうございます



患者会と共に活動を続けてくださる、あおぞら連絡会理事長から年頭のあいづをいただきます。

東京あおぞら連絡会 理事長 吉川 方章

東京あおぞら連絡会は、皆さんと協同・連帯して様々な運動を進めています。この機会に会の現状と課題を記します。

会は都・地域段階の団体・個人が加入し、主な団体は患者会、東京民医連と地域院所、労組などで緩やかな組織です。役員は代表委員9名（理事長、副理事長含む）、常任理事15名（事務局長・次長・会計含む）、理事25名が個人・団体・地域から出ています。常任理事会を2カ月に1回、理事会を3カ月に1回開催します。地域組織は18区（中野・杉並合同等含む）程度、活動内容は役員会が定例化し独自課題で自治体交渉ができることや、必要に応じてその都度課題に取り組むなど多様です。率直なところ、患者会の強弱が大きく影響しています。東京大気の運動は、ぜんそく患者が苦し

い病をおして、勇気をもって裁判に立ち上げり、国・自動車メーカー等を相手に果敢な闘いをしました。その結果、勝利和解で都における医療費助成、pm2.5環境基準策定、公害のない街づくりめざす成果を勝ち取りました。私たちは皆さんの素晴らしいエネルギーに支援、連帯し多くのことを学び、あおぞら連絡会に発展させて今日に至っています。課題はなんと言っても会の活動強化です。それには患者会組織の強化拡大が必要で、率直な要望意見を寄せていただきたいと思えます。

**今年もよろしく
 お願いいたします。**

- 2016年**
- 1月**
- 26(火) 全国大気連 公害センター 10:00~
 - 27(水) ミナマタ裁判傍聴
 東京地裁 15:00~(集合14:00)
 - 29(金) 建設アスベスト京都判決
 判決報告集会 環境省前 14:30~
 院内集会衆議院第一議員会館16:00~
 - 30(土) 世田谷支部総会13:00~
 足立支部総会新年会(千住曙協働会館)10:00
 豊島支部総会 新年会 11:00~
- 2月**
- 5(金) トヨタ総行動 本社要請13:00~
 - 6(土) 自転車学習・討論 15:00~16:30
 - 7(土) 三役会 10:00~
 第12回合同幹事会 14:00~
 - 9(火) 弁護士会議 10:00~
 - 10(水) 太田支部新春の集い 13:30~
 - 11(祭) トヨタ総行動「総決起集会」13:00~
 - 17(水) 事務局会議 13:30~
 " 健康づくり委員会 10:00~
 - 20(土) 文京支部新年会 10:00~
 - 25(木) ユズリハ2月号発行 10:00~
 " 公害対策街づくり委員会 13:30~
 - 227(土) 北連絡会総会 北法律事務所 13:30

医療券更新手続き忘れずに!

誕生日が近づいたら注意

2年に一度、お誕生月の2か月前には、更新手続きのための書類が送られてきます。書類が届いたらできるだけ早く手続きをしてください。

更新を忘れると「失効」します。医療費が全て自己負担になります。

◎かかりつけの医師に、主治医診断書を書いてもらう。
 ◎保険証のコピーを忘れずに。
 ◎わからない場合は、遠慮なく患者会に連絡してください。

**第8回道路連絡会
 日程変更のお知らせ**

2015年ユズリハ11月号でお知らせしました、第8回道路連絡会の日程が変更になりました。

新しい日程
2016年5月19日(木)
会場はまだ未定



一泊バス旅行の案内と申し込み

ユズリハ今月号にバス旅行の案内と申し込みを同封しました。

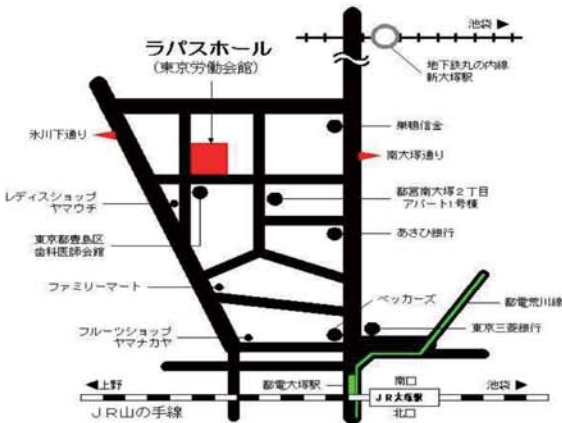
日程は4月10日~11日です。

同封の案内を読んで申し込みをしてください。申し込みの締め切りは2月末です。バスの手配等がありますので申し込み期日が早くなりますが、ご協力お願いいたします。

東京大気汚染公害裁判原告団 東京公害患者と家族の会 第38回合同総会のお知らせ

日時 2016年3月5日(土)13:30~16:30

会場 東京労働会館 (ラパスホール7F)
(地図参照)



■JR山の手線・大塚駅(南口)、都電荒川線・大塚駅下車。徒歩6分
■地下鉄丸の内線・新大塚駅下車7分

総会に参加してください

1月18日に総会案内をお送りいたしました。これからの患者会活動について意見交流をしたいので、できるだけ多くの会員のみなさまにご意見をいただきたいと思ひます。

参加できない場合は、忘れず

委任状をお願いします

総会成立のために、ご協力をお願いいたします。

自転車学習会・討論会

日時 2016年2月6日(土)14:00~16:30

会場 ラパスビル3F (上記地図参照)
(東京労働会館)

世界一安全な自転車利用環境が東京に実現するか？
自転車の走る世界のまち・日本のまち・東京の自転車ネットワークづくり



講師 小林成基

参加を希望される方は、支部の責任者・患者会事務局いずれかへご連絡をお願いいたします。 [NPO自転車活用推進研究会 事務局長]



1月16日(土)川崎公害患者と家族の会・新春のつどいに参加しました。プログラムの最初に、東京経済大学尾崎准教授から「全国患者実態アンケート解析結果」の報告がありました。昨年は夏ごろまで、集中的にアンケートの協力が

- ①「未救済の患者約4割」
東京・川崎という医療費助成がある地域の回答者が多かった。
- ②「気管支ぜん息80%」
診断を受けた病名・ぜん息・ぜん息性気管支炎・慢性気管支炎・肺気腫・COPD
- ③「月に2.51回通院」
ぜん息等の症状で通院する回数
- ④「平均7,432円の医療費」
一ヶ月の診察とお薬にかかる金額
- ⑤「20代〜60代で発病多い」
診断を受けた年齢は

働きざかり世代が多い
⑥「緊急受診565人・入院252人」
全体の1/2割がここ一年以内で緊急受診や入院の経験ある

小括
○「未認定」(未救済)患者においては、今なお症状も安定せず、医療費負担も重くのしかかっている患者も少なくない。
○こうした患者の病気が生活被害「悪循環」を断ち切るためには、救済制度が必要である。それにより、早期に症状を安定させ、結果的に医療費等の社会費用を抑えることができる。
○国に制度ができるまで、自治体レベルでの制度創設は必要だが、根本的には国レベルの救済がなければ制度の維持は難しい。

川崎患者会新春のつどいで報告！ 患者実態アンケート調査結果報告

全国公害団体 合同旗開き

1月8日四谷のプラザエフ(主婦会館)において「全国公害団体合同旗開き」が行われました。参加された団体はみなそれぞれの課題を抱え、今年の目標について決意表明をされました。福島原発被害者は年を追うごとに増え、深刻さも増してきていると感じました。

私たちは大気汚染による、ぜん息等の病気に苦しむ患者の救済と公害対策をめざしています。全国の大気汚染被害者による、全国公害患者の会連合会からは、大場事務局長が今年の展望について報告しました。今年には各地の患者会からの参加が少なく、長く続く大気汚染の運動を担っ



写真は、当日参加された患者と弁護士です。てきた患者のみならず、高齢化してきたことも一因でしょうか？